

The United States



Canada



世界を、時代を、自分を越える

実践プログラム

国際文化学部 2~3年次必修
海外留学/国内研修



France



China



知識とリアルを越える

2～3年次必修 実践プログラム

知識を得て、体験を積み重ね、 社会に発信しながら 多彩な「越境」を実践する

実践プログラムは、教室の外に問題や課題を見出し、解決する力を身につけることを目的とする脱キャンパス型の実習科目です。

事前学修と実地での体験・実践を経て、自ら立てた課題について解決を模索します。事後学修では課題の発見・理解・解決の過程や結論を、想定される受け手を意識しながらひとつの表現・成果物にまとめあげ、ICTを活用して社会に向け発信します。

2～3年次の学生は全員、「実践プログラム(海外 a)」「実践プログラム(海外 b)」「実践プログラム(国内)」の3種類のうちいずれかひとつを選択します。



実践プログラム 海外 a 海外のフィールドで課題を発見し、解決の糸口を模索する

アメリカ、カナダ、フランス、中国での実践プログラムでは、さまざまな文化・地域・業界・フィールドにおいて実際的な問題を体験的に掘り取り、問題の重要性を明確にした上で、他者と共有できる力を身につけます。期間は2年次後期か3年次前期の半期。外国語試験のスコア条件や学内選抜がなく、希望者は誰もが履修できる学部独自の実習です。

実践プログラム 海外 a contents アメリカ……………p.3 / カナダ……………p.5 / フランス……………p.7 / 中国……………p.9

実践プログラム 海外 b 協定大学・認定大学への留学で学びを拓く

留学先大学が求める外国語試験のスコアを取得した上で、学業成績および人物が優秀かつ健康な者が学内選考を経て、協定大学または認定大学へ留学するプログラムです。

本プログラムの特徴として、事前学修(5回)で綿密に準備をした上で、海外留学中は定期的に担当教員とオンラインで面談し、帰国後は事後学修(3回)を行います。留学先の大学で取得した単位を、本学の授業科目(本学科目に読み替えられるもの30単位以内)に単位認定できる制度があります。単位修得状況にもよりますが、4年間で卒業することも可能な制度です。

本プログラムで協定大学・認定大学に留学する場合、大学から一人あたり20万円～最大400万円の給付奨学金(支給額は変動する可能性があります)が授与される、経済面での手厚いサポート制度があります。

協定大学

日本女子大学は10カ国の17大学と長期留学が可能な学生交流協定を締結しています。

米国	ウェルズリー・カレッジ/マウント・ホリヨーク・カレッジ/オレゴン大学	韓国	梨花女子大学/誠信女子大学
英国	ノッティンガム大学/ウォリック大学/ブリストル大学/ヨーク大学/ランカスター大学	中国	河南師範大学
フランス	ポルドー・モンテーニュ大学	台湾	静宜大学/淡江大学
スウェーデン	ウプサラ大学教育学部	ベトナム	フエ大学外国語大学
ニュージーランド	オークランド大学/オタゴ大学/マッセイ大学/リンカーン大学/ワイカト大学	フィリピン	フィリピン大学ディリマン校
		タイ	チュラロンコン大学

実践プログラム 海外 a,b



実践プログラム 国内



実践プログラム 国内 美術・音楽・ファッションetc 探究のフィールドは無限

国内での実践プログラムの目標は「知識と体験を行き来して『越境』し、自分なりの問いを発見し、多様な言語やメディアスキルを用いて発信する力」を身につけることです。

事前の学修と綿密な準備を行い、国内のさまざまな地域や現場におもむき、臨地の文化や社会を体験的に理解するとともに、現場・地域の人々と協働して解決を模索します。プログラムの最終段階では、課題の発見・理解・解決の過程や結論をひとつの表現・成果物にまとめ、ICTを活用して社会に向けて発信します。

クラス一覧

クラシック音楽の解説・批評の実践

奥波 一秀



東京フルトヴェングラー研究会主催のコンサートを通じて、クラシック音楽の理解を深め、現代の音楽文化を考慮した発信方法を磨きます。HPを作成し、大学生の目線から若年層を惹きつけるコンテンツを提供します。

実習先 東京フルトヴェングラー研究会および都内各所

多様なアートの体験を通して、 アートと社会を考える

河本 真理



国際芸術祭、展覧会、美術館や文化遺産の見学実習、あるいはアートベースでの研修を通して、作品の展示の意義や機能を学ぶとともに、アートの社会における役割について考察し、その成果を発信します。実習先は毎年変わる予定です。

実習先 東京、横浜、愛知、越後妻有、瀬戸内、広島など

身体を用いたパフォーマンス についてのワークショップ

木村 寛



ダンス・演劇・お笑い芸など(身体を用いたパフォーマンス)の第一人者を講師として招いたワークショップを実施し、各表現の真髄に触れる体験を通して「身体」と「私」と「社会」との関係性を考察します。経験の有無は問いません。

実習先 東京シティ・バレエ団など

西洋ファッション研究

坂井 妙子



学問としてファッションを研究するために必要な知識(ファッション史、文化史)を学ぶとともに、現存資料の調査方法と、文字や絵画資料の活用方法を具体的に、かつ実践的に学びます。現存資料を見る機会を多く設けていきたいと思います。

実習先 東京都内の美術館および博物館、神戸ファッション美術館など

文化資源の観光資源化の試み

中西 裕二



日本の文化観光について、フィールドワークを交え地域の文化資源の観光資源化を試みます。フィールドワークを通じて観光資源化のコンセプトを作り、事後学修においては当地のプロモーションビデオを作成します。

実習先 北海道日高

都市構造の文化的視点からの 再確認とその観光の可能性

三田 明弘



破壊と再構築が繰返された東京の都市構造を文化的視点から再確認し、新しいタイプの観光の可能性を学生が提案するプログラムです。「歩く」という行為を通して、様々な時代の記憶を追体験し、ニューコンセプトの文化観光ウォーキングルートを学生自身が考え、発信します。

実習先 東京都新宿区・文京区、神奈川県川崎市など

蘇る映画史 - 映画保存とキュレーションの実践

ヨハン・ノルドストロム



映画アーカイブでの特別企画上映会・専門家講義、現代弁士・片岡一郎氏による無声映画パフォーマンス体験、都内独立系映画館でのキュレーション実践研究を通じて、映画史の保存と普及について学びます。理論と実践を組み合わせ、最終的にプロジェクト報告動画を制作します。

実習先 都内映画館など

歴史的建築・美術の調査研究方法の 体験学習と芸術文化の未来への継承

水野 僚子



美術や建築を実際に訪れ、様式や材質等の調査・研究を実施すると共に地域の歴史や文化を学び、それらの機能を具体的に学びます。また、日本美術の保存修復の現場で、修理の伝統的技法を体験学習し、未来に継承すべき文化としてその意義を発信することを目指します。

実習先 国立美術館や各地のミュージアム、京都・奈良や地方の寺社、伝統文化保存・修復工房

他文化からの視線を追体験し、 他文化との接触・越境を再考する

伊藤 由希子



明治中期に來日したラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の眼に、旧来の文化や生活がそのまま継続しているかのような鎌倉・出雲・松江の風景やひとびとのあり方がいかにうつつていたのかを、その著作を読み、さらにそれを現地で追体験することで考えていきます。

実習先 島根県出雲市、神奈川県鎌倉市

哲学カフェの運営による 他者との対話実践

佐々木 雄大



日本近代哲学の生成や日本初の女性哲学研究者の足跡を現地でたどります。また、他者との対話実践である「哲学カフェ」を開催し、地域住民との交流を通じて、自己と既存概念を問い直し、主体的な行動や他者との協働を習得します。

実習先 石川県西田幾多郎記念哲学館など

躍動するニューヨーク、歴史のフィラデルフィア、陽光あふれるサンディエゴへ!

都市留学で未来につながる英語の力と新しい感性の扉を開こう!

2年次後期に開講する英語圏の実践プログラムのひとつである「アメリカ都市文化研究」では、研修先を(1)ニューヨークのコロンビア大学またはベース大学、(2)フィラデルフィアのペンシルベニア大学、(3)サンディエゴのカリフォルニア大学サンディエゴ校、の三つの選択肢から一箇所選びます。どの研修先もアメリカ随一の名門大学であり、その附属英語学校が提供する質の高い英語プログラムを受講します。さらに、英語プログラムと並走するかたちで、自分の関心に応じて都市文化を研究する個人プロジェクトを進めていきます。いずれの研修先の大学も、世界トップクラスの充実したリサーチ環境を提供していますので、その恵まれた環境をフルに活用しながらリサーチをします。この個人プロジェクトについては、国際文化学部の専任教員がオンラインの授業等を通して指導します。帰国後は、リサーチの成果を動画等のかたちでICTスキルを駆使して作成したレポートにまとめます。このレポートは、自分の留学成果について真剣に考える重要な機会となるはずですよ。



BOARDING PASS

JAPAN → The United States

実践プログラム 海外 a
アメリカ 都市文化研究プログラム

日程 2年次後期 開講

NAME 日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY
国際文化学部

搭乗席 SEAT 01

★ ニューヨーク・コース:世界でもっともエキサイティングな都市で一生ものの経験を!

「ニューヨーク」といえば、「最先端の芸術、音楽、演劇」と同義語であると言っても過言ではないでしょう。そんなニューヨークにある名門コロンビア大学、またはビジネス地区の中心にあるベース大学で良質な英語プログラムを履修しながら、色彩豊かなニューヨーク文化のタペストリーに実際に触れてみましょう。ウォール街を早足で行き交う人々、チャイナタウンの豊かでたくましい伝統と活気、リトル・イタリーの味わい深い独特な雰囲気、ハーレムの心揺さぶるリズムを感じてください。そして、リンカーン・センターでは世界トップクラスのパフォーマンスを、MoMAをはじめとする様々な美術館では、世界の至宝ともいえる美術作品の数々をその目で実際に見ることができるでしょう。ブロードウェイだけでなく、実験的な演劇に取り組む小さな劇場も開拓してください。そして、何よりも、ダイナミックなこの街に身を置きながら、様々な困難を克服したとき、皆さん自身が新しい自分に出会えるはずです。



★ フィラデルフィア・コース:合衆国誕生の地でアメリカを深く知る

ペンシルベニア大学は、100ドル紙幣の肖像でもあるベンジャミン・フランクリンが創設し、東海岸の伝統ある名門私立大学アイビー・リーグの一角です。この大学の附属英語学校のプログラムを履修して、熟練した英語教育の専門家に指導を受けながら英語の力を磨きます。ペンシルベニア大学があるフィラデルフィアは、街そのものが世界遺産であり、アメリカの歴史の教科書のようなところ。アメリカ独立を象徴する自由の鐘や独立記念館、米国憲法センターを訪れて、アメリカの成り立ちを理解しましょう。また、フィラデルフィアは芸術都市でもあり、アメリカ最古のオペラハウスをはじめ、映画『ロッキー』の名場面である有名なフィラデルフィア美術館、印象派を中心とした世界最大級のバーンズ・コレクションは見逃せません。また、この街のサウンドといえば、名門フィラデルフィア管弦楽団だけでなく、フィリー(フィラデルフィアの愛称)ソウルの発信地であることも忘れてはいけません。多彩な文化を生み出してきたフィラデルフィアの街は皆さんの好奇心を刺激してやまないでしょう。

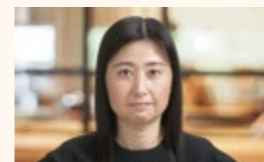


★ サンディエゴ・コース:カリフォルニアの海辺の都市で未来について考えよう

サーフィンの聖地でもあるラ・ホヤに佇む名門カリフォルニア大学サンディエゴ校の定評ある英語プログラムでコミュニケーション力を磨きながら、メキシコと国境を接する街ならではのハイブリッドな文化を経験することができます。サンディエゴは、世界的に有名な動物園やシーワールドがあるだけでなく、バイオテクノロジーや海洋研究の分野において未来の産業に直結する技術が生まれている場所です。将来のグローバル・マーケットをイメージするヒントを見つけることができるでしょう。また、サンディエゴはアメリカ海軍の拠点の一つであり、海軍の存在がこの都市の伝統を形づくっていることを海事博物館などで知ることができるはずです。さらに、カリフォルニアの人々のライフスタイルを形づくっているマインドフルネスやウェルビーイングについての価値観を知ることが、自分自身の内面を見つめたり、将来の展望や生き方を考える参考にもなることでしょう。



現場のリアリティ×充実したリサーチ環境で「知」を追求しましょう



Profile

担当教員 田中 有美先生

専門はアメリカ南部文学を軸とする英語圏、スペイン語圏、日本の文学を視野に入れた比較文学・文化研究。文学テキストが、言語、国境、時間、メディアを横断しながら変容していく過程を考察している。

● 私がアメリカで学んだこと

私は大学院でアメリカに留学しました。圧倒的に視野が広く、フレンドリーでありながらも徹底的にプロフェッショナルに学生に向き合う大学教員の質の高さに感銘を受けるとともに圧倒されました。学生も、24時間オープンしている大学図書館や寮で、毎日夜を徹して必死に授業の準備をしていました。その一方で、休憩を兼ねてジムで汗を流したり、金曜日の夜はバーに行ったり、長めの祝日休暇にはトレッキングやハイキングを楽しんで自然に触れるなど、オンとオフの切り替えをうまくしている人が多いと思いました。そして、日本の大学との違いを痛感したのは、リサーチ環境です。アクセスできるオンライン・データベースの量や質、学修・研究支援システムが大変充実しており、何もかもがスピーディでした。高度に発展したリサーチが可能な環境で、最新のリサーチ・スキルや教育に関係するICTスキルを身につけることの重要性を強く認識しました。



● 英語+αの心を通わせるためのコミュニケーション力

将来どのような方向に進むのであれ、もっとも汎用性の高い言語である英語を自由に使えるようになることは自分の将来の選択肢を増やすことにつながります。また、言語だけでなく、イメージやデータを使って、説得的にコミュニケーションをはかる能力もこれからの世界では不可欠です。このようなコミュニケーション能力は何としても、大学在学中にある程度までは磨いていただきたい能力です。個人的には、そのような総合的なコミュニケーション能力は、何度も場数を踏み、修正を重ねていくことで誰もが磨くことができる力だと私は考えています。留学先でも、バックグラウンドが異なる相手に対して、真摯に、言葉やイメージを工夫する努力を怠らずに、丁寧にコミュニケーションを重ね、そのようなやりとりから喜びを感じられる経験をたくさん持ってもらえたらと願っています。留学で得られる友情や人脈、そのような丁寧なコミュニケーションの結果として得られた新しい発見や知的喜びは、何ものにも代えがたい一生の財産となるはずです。そういった財産を、新しいみずみずしい感性と柔軟性を備えている若い世代の皆さんに、早いうちから築いてもらいたいと思います。



● キャンパスを、日本を飛び出して、自分だけのカリキュラムを自分でつくる

私は、一人ひとり、その人に必要な教育や経験というものは異なると思っています。学校のシステム上、または、実際の効率の観点から、ある程度の人数を集めて同じ授業をせざるを得ないのが学校という場所ですが、本来ならば、個性に合わせて必要なことをカスタマイズした教育ができることが理想だと思います。この実践プログラムでは、英語のプログラムをベースにしつつ、個人プロジェクトを組み合わせることによって、少しでもその教育の理想形に近づけるのではないかと考えています。この「アメリカ都市文化研究」の履修を決め、ニューヨーク、フィラデルフィア、サンディエゴから一箇所、留学先を選んだら、自分の興味や関心、長所をよく理解して、それを伸ばしていくためには、自分にどのような知識や経験が必要なのかを考えて個人プロジェクトを練ってもらいたいと思います。世界の中心とも言えるダイナミックなニューヨーク、歴史を知ることの重要性に気づかせてくれるフィラデルフィア、最先端の技術と精神性のバランスを取ろうとするカリフォルニアの価値観を知るのにふさわしいサンディエゴ、どれも魅力的な都市ですが、あなたに最もふさわしい場所はどこでしょうか？

自分に必要な教育は、周囲の友達とは違うかもしれませんが、また、成長のスピードも異なると思いますので、周囲の人と自分を安易に比較せず、あくまでも自分主体で、自分の学びを慎重に構築して欲しいと思います。また、国際文化学部は多様な脱キャンパス型プログラムと、教室で実施される授業を用意していますので、それを賢く組み合わせ、自分にとって最適なカリキュラムを作ってください。我々教員も全力でバックアップします。

担当教員	田中 有美 / 河本 真理 / 水野 僚子	
事前・事後学修	オリエンテーション1回、事前学修4回、留学中にオンラインによる現地調査中間報告と教員による指導・ディスカッション5回、事後学修3回、全体報告会1回	
課題・成績評価	課題としては、(1)事前学修のなかで課される課題や事前計画表の作成、(2)留学中の進捗状況報告、(3)帰国後に提出するICTを駆使したレポートがあり、この三つの取り組みを踏まえて成績が決定する。この三つの課題と研修先の英語プログラムの修了証を提出すれば、10単位が与えられる。	
日程	全コースとも、出願希望調査は1年次1月末	費用
ニューヨーク	コロンビア大学 出願締切:8月上旬 留学期間:9月上旬から12月上旬(3ヶ月) ベース大学 出願締切:8月上旬 留学期間:9月上旬から3月中旬(6ヶ月)	24,000ドル程度(住居費込み、航空券代含まず) 10,000ドル程度(住居費、航空券代含まず)
フィラデルフィア	出願事前登録締切:3月中旬、出願締切:4月中旬 留学期間:8月下旬から2月中旬(6ヶ月)	34,000ドル程度(住居費込み、航空券代別)
サンディエゴ	出願事前登録締切:5月上旬、出願締切:6月上旬 留学期間:10月上旬から2月下旬(約4ヶ月)	28,000ドル程度(住居費込み、航空券代別)

カナダとアメリカの国境地帯で

リアルな越境体験を!

カナダのナイアガラ地域は、最大の都市トロントに程近く、アメリカと国境を接するエリアです。ナイアガラ・プログラムの最大のキーワードは「越境」。2つの異なる国家の制度を行き来しながら生きる、人々の生活を体験することができます。国境エリアのカナダ側のナイアガラ・オン・ザ・レイクは、ヨーロッパの田園地帯を思わせる美しい街です。「農園から食卓へ」の食文化、観光・環境保全、地域振興など、興味深いトピックにあふれる地域でもあります。語学力を磨きながら現地の人とじっくり触れ合い、さまざまな場所に足を運び、湧き上がってきた疑問をもとに自らが発見した課題に取り組みましょう。居心地の良い日常を超えた未知の世界での学びは、それまでの自分自身さえも「越境」できるはずです。



ナイアガラ・カレッジで英語力を向上させる

英語学修を行うナイアガラ・カレッジは、オンタリオ州公立で、州政府の認可を受けた多くのプログラムを提供するカレッジです。比較的日本人が少なく、習熟度別に分かれたクラスは、1クラス12~16人の少人数制。きめ細かい指導で、大学の授業が受講できるくらいのレベルまで実力を引き上げます。

英語を使つてのコミュニケーション能力を高めることで、言葉を支えつた人の数、入手できる情報の量は格段と増えます。ナイアガラ地域の歴史や発展、人々の生活と国家、地域振興に深く結びついた芸術文化など、深い部分まで学び、理解するための英語学修です。



見える境界、見えない境界、つくられた境界さまざまな境界を越える

ナイアガラからレインボーブリッジを渡るとそこはアメリカのバッファローという都市です。アメリカとカナダでは、通貨も、単位も、公用語も、法律も異なります。アメリカでは21歳から飲酒可能ですが、カナダでは19歳です。同じ飲酒という行為でも、境界の手前にいるか、境界を越えたところにいるかで、違法行為かそうでないかが変わってしまうわけです。このような状況を実際に目の当たりにすると、法律を犯す=罪が自明で普遍的なものではない可能性に思い至ります。

また、ナイアガラからは大都市のトロントやアメリカのバッファローに足を伸ばすことも可能です。大都市と郊外・地方を越境することで、互いの関係性や、それぞれが持つ課題についても発見できるはずです。

食、映画、メディア、アート比較文化の対象は多種多様

ナイアガラ・カレッジからほど近いナイアガラ・オン・ザ・レイクには、アイスワインを醸造するワイナリーが多数あります。農業が盛んな地域であることから、環境に配慮して「農園から食卓へ」を標榜する食文化があります。また、カジノのような人工的な娯楽と、自然に親しむアクティビティの両方が楽しめるという魅力を全面に押し出した観光地戦略も興味深いもの。アイルランドの劇作家G・B・ショーの作品を5カ月間上演する「ショー・フェスティバル」を軸に、芸術と社会の関係を考察する機会もあるはずです。

ナイアガラ・オン・ザ・レイクから車で約1時間のトロントは移民の町です。日本人にとって馴染みのない移民政策やその文化は刺激的に感じられることでしょう。さらにトロント大学は現代メディア理論が生まれた教育機関です。日系カナダ人の中には世界的に活躍する作家や芸術家もいます。そして、何と云っても、トロント映画祭の会場 TIFF Bell Lightboxで映画を見たり、併設のギャラリーでカナダ映画の歴史を知る経験をもつこともできるでしょう。



多彩な学びのあるナイアガラで自らの課題を発見しましょう



Profile

担当教員 田中 有美先生

専門はアメリカ南部文学を軸とする英語圏、スペイン語圏、日本の文学を視野に入れた比較文学・文化研究。文学テキストが、言語、国境、時間、メディアを横断しながら変容していく過程を考察している。

●私が見た国境地帯の風景

私は、ナイアガラ地域の国境地帯のアメリカ側のバッファローに居住していたことがあります。地続きであるものの、国境を越えると単位、公用語、貨幣が異なるだけでなく、飲酒など、国境のどちら側にいるかによって合法と違法のものが異なっているという状況に何だか妙な気がしたものでしたし、国境を意識するという自体、日本にいとあまり経験することがないことでした。

また、このナイアガラ地域を本拠地とするネイティブ・アメリカンのセネカ族の人々は、現在の国境とは関係なくその地域にまたがるようなかたちでコミュニティを形成していることから、現在の国境の人為性や存在意義などについても考えました。実生活では、アメリカドルはカナダドルよりも強いので、現地の人々はアメリカ側で職を得て、カナダ側に住むことがもっとも経済的と考えていたようでした。



●語学研修をナイアガラ・カレッジに決めた理由



語学研修の場所をナイアガラ・カレッジに定めた理由の一つには、この大学が留学生から評価の高いホームステイ・システムを備えており、留学生特有のニーズに精通したスタッフがいることがあげられます。アットホームな環境の中で、じっくりと学修に取り組んで欲しいと思います。

最初はトロント大学など良く知られた名門大学にすることも考えましたが、日本人がとても多いと聞き、日本人同士でのコミュニケーションが多くなると英語力を磨く時間が削られると思いました。また、東京と似たような都市ではなく、郊外に住むことも一つの越境ではないかと考えました。そこで自然や環境に対する新しい価値観に触れることができ、地元の産業と深く結びついた教育機関であるナイアガラ・カレッジという大学を選びました。

さまざまな越境を体験できる環境の中で、少人数制のクラスできめ細かい指導を受けて、英語でコミュニケーションを取るといふことに自信がもてるようになってもらいたいと思います。

●観光だけではないナイアガラ地域

ナイアガラ地域は数百年前からある世界的観光地ですが、見るべきは発達した観光産業そのものばかりではありません。たとえば、ナイアガラ地域にはきらびやかなカジノ施設が複数あり、観光客を呼び込む人気の娯楽のひとつとなっています。これは、いわゆるインディアン・カジノであり、このカジノの運営をしているのは、ネイティブ・アメリカンです。ナイアガラ地域ではセネカ族が1988年に制定されたインディアン賭博規制法に則ってカジノ経営をしています。アメリカではカジノ産業は厳しい規制の対象ですが、なぜ、ネイティブ・アメリカンの居留地では営業が認められているのでしょうか。カジノとネイティブ・アメリカンの関係について、是非調べてみましょう。

日本では公営の美術館やアート・イベントが厳しい経済状況のなか、中止されたり縮小されたりしていますが、ナイアガラ・オン・ザ・レイクのショー・フェスティバルは、数日などではなく、1年のうち半年近くも続けることができ、長年地域振興に貢献しています。その成功はどのような仕組みによるものなのでしょうか？日本の地域振興に役立つヒントが見つけれられるかもしれません。その一方で、フェスティバルで公演を実際に鑑賞する客層や運営する人々が年々高齢化しているようにも見えます。もしかしら、このイベントが抱える問題点も出てくるかもしれません。

また、ナイアガラ・カレッジでは、特産のワインだけでなく、リンゴのビールやウィスキーなど、他の酒類の醸造と販売、さらに養蜂など、新しい産業のノウハウを若者に教える教育機関として発展を続けています。社会における大学の役割についても新たな理解を得られることでしょう。



担当教員

田中 有美 / ニール・アディソン

事前・事後学修

オリエンテーション1回、事前学修4回、留学中にオンラインによる現地調査中間報告と教員による指導・ディスカッション5回、事後学修3回、全体報告会1回

課題・成績評価

課題としては、(1)事前学修のなかで課される課題や事前計画書の作成、(2)留学中の進捗状況報告、(3)帰国後に提出するICTを駆使したレポートがあり、この三つの取り組みを踏まえて成績が決定する。この三つの課題と研修先の英語プログラムの修了証を提出すれば、10単位が与えられる。

日程

出願希望調査は1年次1月末
出願締切4月末、留学期間2年次8月末から2月中旬まで

費用

約15,000カナダドル(ホームステイ代込み、航空券代別)

西カトリック大学附属語学学校で

高度なフランス語を学ぶ

西カトリック大学附属の語学学校CIDEFは1947年に設立され、毎年81カ国以上の国々から来る1200名以上の生徒や、フランス語教授法のトレーニングを受ける目的の教員たちがコースを受講します。60名もの講師やアカデミックアドバイザーが在籍し、留学生は万全な体制でフランス語を学習できます。2020年からはB2以上の上級者、大学進学を目指す方向けに進学準備コースを開講しています。語学学校の母体となる西カトリック大学は1373年創立の名門の私立大学です。大学がある古都アンジェは、パリから電車で1時間半、古城やワイナリーのある自然豊かな街です。



BOARDING PASS

JAPAN → France

実践プログラム 海外 a
フランス 西カトリック大学プログラム

日程 3年次前期 開講

BOARDING PASS

NAME
日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY
国際文化学部

搭乗席
SEAT 03

フランス語と文化を集中的に学ぶ

アンジェ西カトリック大学附属の語学学校CIDEFで、2月～6月の15週間、毎週21時間かけてフランス語を集中的に学びます。CIDEFは世界各国150以上の大学と多くの提携を結び、ヴァリエティ豊かな授業と質の高い教育内容に定評があります。

フランス語を学ぶ方法は口頭理解、会話、作文、演劇表現、音声学など多彩です。また、フランスのモードや商業フランス語、英仏翻訳、大学進学のためのフランス語など、専門分野に絞ってフランス語を学ぶ授業もあります。さらに美術史、哲学、時事・メディア、フランス史などを切り口としてフランスの社会文化を学びます。



「フランスの庭」ロワール地方の生活文化に浸る

貴族たちがごぞって城を築き、華やかな宮廷絵巻を繰り広げたロワール川流域は、田園風景や童話の世界のような城の景観を楽しめる場所です。

人々の歴史と生活がある場所には、豊かな食文化があります。緑豊かな森と葡萄園が広がる「フランスの庭」とも呼ばれるロワール地方では、30種類以上ものAOCワインを楽しむことができます。クレメ・ダンジュやコアントローもこの地域で生まれたものです。美しい自然の中でフランスの美食文化を味わい、学んでください。



エクスカッションでフランス西部の文化・歴史を学ぶ

CIDEFのプログラムには、さまざまなエクスカッションがあります。世界遺産に登録されている「シュリー＝シュール＝ロワールとシャロンヌ間のロワール渓谷」には、フランソワ1世が築いたシャンボール城や、「6人の奥方の城」と呼ばれるシュノンソー城があります。中世において、フランスの政治や文化の中心地であったこの地域では、国の中心がパリに移るまでの時代に思いを馳せることができます。ノルマンディーのモン・サン・ミッシェルでは歴史をはじめ、中世のさまざまな建築様式を見ることができます。そして文豪フランソワ＝ルネ・ド・シャトーブリアンが眠る、彼の生誕地ブルターニュを訪れるのは、フランス文学を辿るきっかけになるかもしれません。フランス西部の文化や歴史を学ぶエクスカッションを存分に活用してください。

個人主義や合理的な思考を学び、今までの自分を越境しましょう



Profile

担当教員 高井 奈緒先生

専門は19世紀のフランスで書かれた写実主義・自然主義文学。特にフロベール、ゴンクール兄弟、ゾラなどの小説における、女性の身体や衣装の描かれ方や、身体と衣装との関係性を通じた女性の描かれ方についての研究を行う。



●アンジェとパリをフィールドに学ぶ

アンジェ西カトリック大学附属の語学学校CIDEFは、世界中の大学と多くの提携を結び、非常に高い教育の評価で知られています。学校では15週間、毎週21時間のフランス語(口頭理解、会話、作文、演劇表現、音声学)、専門フランス語(モードのフランス語、商業フランス語、英仏翻訳、大学進学のためのフランス語)、そしてフランス文化(社会文化、美術史、哲学、時事・メディア、フランス史など)の授業を受けることができます。何より生のフランス語、フランス文化にどっぷり漬かって暮らしながら学び、それらを身につけるチャンスとなるはず。外国人の生徒たちと触れ合うことで、国際感覚も養うことができます。

アンジェはフランスの中世の歴史の重みを感じさせる小さな町で、落ち着いた環境でフランス語とフランス文化を学ぶことができます。パリからはTGV(高速鉄道)で1時間40分です。週末などに日帰りで行けることも可能なので、アンジェだけではなくパリでも自主学習の機会を是非作ってください。



●海外留学だからこそできること

海外で学ぶことにより、様々な点で日本との違いを知ることができ、物事をより相対化して柔軟に考えることが可能になると思います。さまざまな考え方の引き出しを持つことは、人生において非常に重要なことだと考えています。

特にフランスでは、個人主義や合理的な思考を学び、身につけることが出来ると思います。これもアカデミックな勉強や人生において非常に役に立ちます。

また、フランスではゆったりとした時間が流れていて、持続可能な社会への取り組みも進んでいます。生活に対する考え方についても大きな気づきを得られるでしょう。



●私がフランスで学んだこと

私自身は大学3年生の時に、1年間パリに語学留学したことがきっかけとなり、フランス文学の研究者になりました。

留学がなかったら全く違う人生を歩んでいたかもしれません。皆さんにとってもフランスでの留学が良い変化・気づきのきっかけとなることを願っています。これまで留学した学生は、みな「留学して本当に良かった」と言っています。最初は「なんとなく」というのもありだと思います。迷っている人も是非思い切って異国での冒険に乗り出してみてください。現地では主体的に学ぶ姿勢を忘れないようにしてください。



●大学生にはお金はなくともたくさんの学ぶ時間があります

大学生はお金はあまりないけれど、自由な時間はたくさんある時期だと思います。その自由な時間を有効に使って、好きなことをたくさんすると思います。その経験から自分は何が好きなのか、あるいは嫌いなのか分かるようになり、就職にも役立つと思います(好きなことを仕事にすることを勧めます)。働きはじめると残念ながら本当に時間がありません。

大学での勉強も、難しく考えすぎず、是非楽しみながら取り組んでください。美術館や展覧会にも積極的に足を運び、本物をたくさん見て審美眼や感性を磨いてください。学生のうちは、混んでいない平日に行くことができるのも大きなメリットだと思います。映画をたくさん見たり、多くの本を読む時間を持つのは、大学生の特権です。

担当教員 高井 奈緒

事前・事後学修 事前指導5回・事後指導3回、オンライン指導を含め30時間相当

課題・成績評価 課題:計画表の作成、留学中の進捗状況報告、帰国後のレポート
成績:課題、研修先でのプログラム修了証の提出にて10単位

日程 2年次 2月～3年次 6月

費用 140万円程度(滞在費、航空券代込み)

河南師範大学を拠点に 中国四千年の時空を体感する

河南省にある河南師範大学は、河南省人民政府に属し教育部が共同運営する中国の国立大学です。生態環境保護とクリーンエネルギーに関する学科や、教育部人文社科重点研究基地に指定されていることから文学、外国語、新聞メディア学など人文系学科の評価も高い大学です。河南省は古代の王朝が都を置いた地域です。河南師範大学の所在地は、中国八大古都(北京、南京、杭州、西安、洛陽、開封、安陽、鄭州)のうちの四都市(洛陽、開封、安陽、鄭州)のいずれも近くにあります。実践プログラムでは、中国歴代王朝の古都へのアクセスが良いという地の利を活かして、中国文化・歴史・社会などの学問分野とその関連領域の基礎を身につけます。四千年という膨大な年月の中での文化の変遷と継承について実地検証を行い、自分の独自の研究テーマを発見し、調査を実施しましょう。

BOARDING PASS

JAPAN → China

実践プログラム 海外 a
中国 河南師範大学プログラム

日程 3年次前期 開講

BOARDING PASS

NAME
日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY
国際文化学部

搭乗席
SEAT 04

河南師範大学で生きた中国語を身につける

河南師範大学は1923年に設立された、河南省の重点大学の一つです。師範大学とは、日本で言う教育大学です。そのため河南師範大学には「対外漢語専業」という外国人に中国語を教える教員を養成する学科があり、留学生向けにこの学科の中国人学生を家庭教師として手配する制度があるなど、語学学習には恵まれた環境です。日本からの留学生は少なく、1クラス10人前後の少人数クラスもあり、生きた中国語を学ぶことができます。

提供する中国語学修プログラムを受講しつつ、世界で唯一のパラロッティ音楽芸術センターや河南省で最大規模の生物標本館を有するキャンパスで充実した学びを実現しましょう。

中華文明の原点と文化の精髓に触れる歴史の旅をする

河南省安陽市の殷墟には、中国最古の王朝・殷王朝の遺跡があります。殷墟とは、殷王を祀った巨大な地下墓です。甲骨文字と青銅器の文明遺跡に触れると、呪術的観念が日常と融合していた時代の謎を探りたくなるはず。河南省西部、黄河の中流に位置する洛陽は、中国史上、しばしば首都となった場所です。郊外では中国を代表する仏教遺跡や、圧倒的な荘厳さを実感できる竜門石窟を見ることができます。

宋王朝の首都であった開封は、黄河と大運河が交差する商業上の要地でした。明朝時代に黄河の大洪水で埋もれてしまった開封ですが、宋代の活気あふれる庶民の生活は絵画『清明上河図』や小説『水滸伝』からうかがうことができます。

過去から未来へ変貌する中国型現代都市を体験する

河南省は中原と称された華夏文明、中華民族発祥の地として知られています。元代以前には多くの王朝がこの地を都とし、河南省の省都である鄭州は古来から交通の要所でした。「鄭州商城遺跡」で殷の時代の都の繁栄を知り、河南博物館では青銅器や陶磁器などのコレクションも見られます。

また、鄭州市は近代的なエンターテインメントや娯楽施設が数多くあることでも知られています。鄭東新区の百万ドルの夜景は美しく、噴水を利用した水幕映画も上映されています。世紀歡樂園はジェットコースターのある遊園地。二七商業エリアは一番の繁華街です。

古代から現代までの変遷を感じられる都市で、中国の悠久の歴史を体感しましょう。

メディアやSNSからは知ることのできない中国を体験しよう



Profile

担当教員 三田 明弘先生

専門は日中比較文学、説話文学。

『今昔物語集』などの日本中世の説話文学や六朝から唐宋にかけての志怪小説が主なテーマ。

また、類書や妖怪の研究も行っている。おすすめは『史記』(司馬遷)。

この書に登場する人物のアクティブで独創的な生き方は、現代においても学ぶべき点が多々ある。

●私が中国に興味を持った理由

私はそもそも、『史記』や『三国志』『聊齋志異』などの中国の古典に対する強い興味から中国を研究対象としてきました。その後、80年代に中国を訪問し、実際にその国の現在を見たことから、現代中国にも関心を持つようになりました。その後の中国の劇的な変化は現在も加速しており、私の現代中国に対する関心も一層深まっています。

学生の皆さんにも、グローバル化の時代の最前線で活躍する国際人として羽ばたいてゆくために、実際に見て考えることの重要性を学んでほしいと思います。



●現地調査だからこそ掻き立てられる興味関心

実践プログラムでは、河南師範大学を拠点に中国語・中国文化についての講義を受け、洛陽・開封・安陽・鄭州などの古都の実地調査を行います。

目的は中国語力を向上させるとともに、中国の歴史と文化についての理解を深め、併せて今日の発展する中国における地方都市の取り組みを学ぶことです。

学生の皆さんには、興味や知識の幅を限定せず、なんでも貪欲に学び、視野を広げていただきたいと思います。河南師範大学コースでは、自分の中に眠っていた興味関心や、学びたい欲求を掻き立てることができると思います。



●世界が目にするリアルな「中国」を知る

中国は、国際社会における存在感を年々高めています。国内総生産は2010年に日本を抜き、あと数年でアメリカを抜くとも言われています。経済の成長は勢いを増し、世界中の目が中国市場に集まりビジネスチャンスを狙っています。さらに「世界で中国語を話す人が増えている」と言われる今、言語を習得することの意義もまた大きなものになるでしょう。

日本にいる私たちは、中国という国をメディアを通して知るしかありません。しかし現地で学び、理解するのは、メディアで紹介される以外の全面的な中国です。このプログラムを通して、是非、中国に対する知見を深めてください。



担当教員	三田 明弘
事前・事後学修	事前指導5回・事後指導3回、オンライン指導を含め30時間相当
課題・成績評価	課題としては、(1)事前学修のなかで課される課題や事前計画書の作成、(2)留学中の進捗状況報告、(3)帰国後に提出するICTを駆使したレポートがあり、この三つの取り組みを踏まえて成績が決定する。この三つの課題と研修先のプログラムの修了証を提出すれば、10単位が与えられる。
日程	2年次 2月～3年次 7月
費用	90万円程度(滞在費・航空機運賃込み)

知識とリアルのボーダーを超える

2～3年次必修 実践プログラム

社会の課題が少し見えてきた2年次、3年次では、その課題を深く掘り下げ、知識と体験のボーダーを越境しながら解決の道を模索する「実践プログラム」を実施します。

プログラムには、本学と協定を結んだ大学や海外の教育機関に留学する海外研修a/bと、国内の施設で実習やワークショップを行う国内研修があります。

3種類のプログラムそれぞれに事前学修～体験・実践を積み重ねて、その成果を社会に向けて発信します。さらに、「実践プログラム」を通して得た学びを英語で表現・発信することを目的とした、全員必修の短期集中少人数セミナー「バイリンガル・コミュニケーション」(3年次後期)があります。今後の展望や社会に対する問題意識も明確にしながら、英語でプログラミングも学び、英語で自分のサイトを作って発信します。

■3種類のプログラム

海外a:希望者全員が履修できる海外留学プログラム(原則として語学力不問)

海外b:協定大学または認定大学へ留学するプログラム(語学力等の学内選考・奨学金給付制度あり)

国内 :国内で行う実習やワークショップ



費用について

費用は2025年4月時点でのレートで見積もられています。(1USドル=145円 1ユーロ=165円 1元=19.6円)
為替に大幅な変動があった場合には費用も変更になります。

※本冊子の掲載情報は2025年4月時点のものです

🍷 日本女子大学 公式 SNS



Instagram

目白キャンパスの
日々の風景、学生の
活動、本学の歴史など
を紹介しています。



X(旧 Twitter)

「日本女子大学の
今」を発信してい
ます。



LINE

入試やイベント
の情報をお届け
します。



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

国際文化学部

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 Tel.03-5981-3786(入試課)

学部HP https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/transcultural_studies/index.html

国際文化学部の
詳しい情報は
大学HPから



※デバイスの種類により読み取れない場合があります